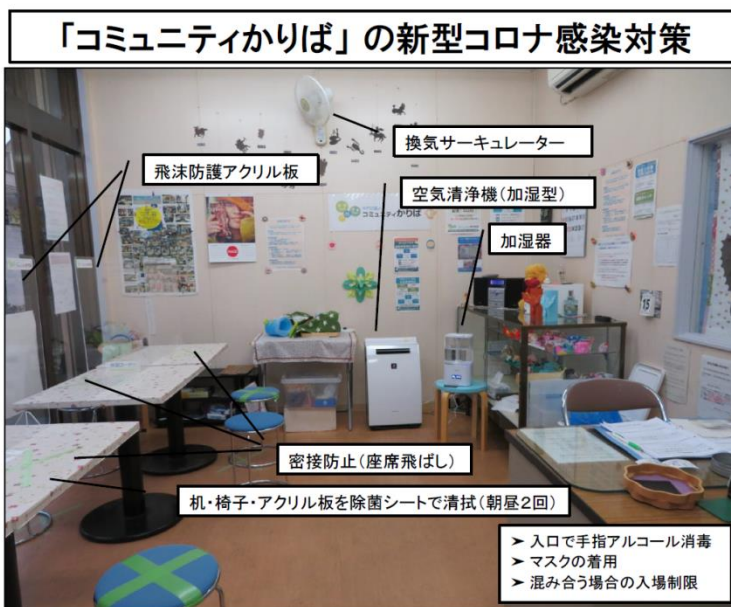


## 2020年度事業報告

1. 今年度 4/16～5/6 の 20 日間、新型コロナ感染拡大に伴う「緊急事態宣言」により、設立開業以来初めてとなる全面休業閉鎖(参考資料 1)を余儀なくされました。しかしながらその後、「健康ひろば」「フリマボックス」は 6 月から開始し、居場所機能としての「休憩所・セルフ喫茶」は 7 月 10 日から「新方式」(参考資料 2)により全面開業にこぎつけました。

「新方式」は、NPO 法人 CS 神戸主催の「With コロナ時代における感染症勉強会(6/27)」に参加し、「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」(東京都健康長寿医療センター)及び「外食業の事業継続のためのガイドライン」(全国生活衛生同業組合中央会)に学び、地域の医療関係者の協力を得て、飛沫防護シート設置を含む感染症対策を徹底し、地域の皆様に「コミュニティかりば」を安心して利用していただけるようにしたものです。

このコロナ感染対策をしっかり施した「新方式」には 14 万円ほどの経費が必要でしたが、対策後、事業が順調に継続できた大きな要因と考えています。



2. 「受託事業」のかりばプラザ休憩所「コミュニティかりば」の運営では、コロナ禍による 3 ヶ月間(4月11日～7月9日)の休止にもかかわらず、年間 10,309 人(’19 年度 12,242 人)の訪問者を迎え、「かりばプラザ集会所」は 470 件(’18 年度 926 件)を受付けし、料金収納をしました。

事務局的作用を受託している「元気アップかりば」の取り組みでは、新型コロナ感染対策のためほとんどすべての歳時記的イベントが中止となりました。しかしながら、「元気アップかりば」が 2010 年 7 月の「かりば七夕」から始まり 10 年の節目を迎えたことから、振り返って記念する事業が「元気アップ検討会」で企画され、コロナ情勢が落ち着けば実施できる準備が進んでいます。



3. 「自主事業」は、コロナ禍にもかかわらず、新たな試験的取り組みを含め多様な展開となりました。
  - 1) 「お困りごとサポート事業」の利用件数は、過去最高となった’19 年度 137 件の 6 割程度と少なくなりました。高齢化が進んでいることからお困りごとが減るとは考えられず、コロナ禍による依頼控えがあったものと考えられます。なお、その 7 割近くは庭の草取り剪定作業でした。

- 2) 「フリマボックス事業」は、コロナ禍にあつて意外な展開を見せました。昨年3月から感染予防マスクの品薄により手作りマスクの需要が増えはじめ、生活を支えるフリマボックスの役割が発揮され、売上は5,598品、1,651千円（`19年度5,193品、1,399千円）と大きく伸び、NPO収益と地域の居場所づくりに大きく貢献しました。
- 3) 「健康ひろば事業」（健康太極拳；毎週火曜日、健康ストレッチ；第1・2・3木曜日）は、コロナ禍により4月中旬から5月いっぱい休止し6月から再開しました。なお、今年は真夏の8月は休止し、雨天時にはアーケードでの開催も密になりやすいので、コロナ対策として中止としました。そのため、今年度は年間2,560人（`19年度3,614人）の参加となってしまいました。

西区「わがまち魅力アップ助成」を`16年度から3年間受けてきましたが、`19年度からは西区社会福祉協議会の「赤い羽根助成」を受け、①健康維持と介護予防、②交流の場づくり、③かりばプラザの元気アップに役立っています。同時期に始めた「セルフ喫茶」は、新型コロナ感染対策をしっかりと施したことにより、地域の皆様に安心してご利用いただき、3ヶ月間休止しましたが131千円（`19年度225千円）となり、その収益で「健康ひろば事業」の経費の一部を賄っています。

なお11月5日、かりばプラザ集会所大会議室で、定期的開催をもくろむ試験事業として「体力測定会」を開催し50名の参加を得ました。「健康ひろば」に参加されている皆様の健康志向を受け、健康状況を数値で把握できないかと模索していたところ、神戸医療生協西神支部からの呼びかけもあり連携し協同することで実現できました。参加者には好評で試験事業として成果があったことにより、来年度からは、本格的に測定項目も増やし、定期的（5月・11月）に開催することが決まりました。



- 4) 「移動自転車修理店」（毎週月曜日）は、地域の皆様からたいへん喜ばれ、コロナ禍にもかわらず年間1,019人（`19年度1,195人）の訪問を受け、かりばプラザの賑わいに役立ちました。
- 5) 「子どもたちの多様な学習の場づくり＝D・ラーニング」は、`19年度に、オールタウン化した狩場台・糺台に若い子育て世代を呼び込むため、西区役所、神戸芸工大、神戸学院大、神戸ハイテクパーク工業会と協同して試験的に開催され、`20年度は8回の開催が予定されていました。しかしながら、コロナ禍でオンライン開催も工夫されましたが2回だけの実施となりました。来年度からは対象を西区全体に広げて地域の協力も得ながら西区役所の主催ですることになりました。
- 6) 「かりば七夕(夜の部)」ビアガーデン・「夏祭り生ビール屋台」など「元気アップかりば」イベント協賛事業としての取り組みがコロナ禍によりまったくできず、収益が計上できず財政に響きました。また子育て世代の皆さんによる年2回のおしゃれな「グループ・フリーマーケット」もできなかったことはたいへん残念でした。

4. 当NPOは、設立から7年目を迎え、コロナ禍によって今年度さらに鍛えられ「安心して住み続けられる地域づくり」に向けて安定的・継続的に経営できるようバージョン

アップされてきました。

- 1) 「賛助会員」は、昨年度初めて広く募りましたが、今年度も継続して取り組み、昨年を上回る 108 名、132,000 円の賛助をいただくことができました。今後も、さらに継続的に地域に役立つ課題に取り組みながら、当 NPO の応援団としての「賛助会員」になっていただき、文字通り「地域の皆様に支えられた NPO づくり」を進めていきます。
  - 2) 「ホームページ」や「コミュニティかりば通信」などの「広報活動」は、これまで充分なものではありませんでした。その発展のためには、世代交代を意識した`比較的若い`新たな人材を発掘し呼び込みが必要となります。今年度「ホームページ勉強会（2ヶ月・計 4 回）」を開催し、新しい仲間を迎えスタッフが充実されたことは今後大きな力となります。
  - 3) 今年度「この街が続く限りこの NPO が存続し、その時代に応じて発展できる基礎を作る」ことを目標にした「経営改革」の検討に着手しました。その結果、「NPO 法人コミュニティかりば 経営改革ステップ計画」（参考資料 3）がまとまり、`21 年度から`23 年度までの 3 年間で実施することとなりました。
5. このように、受託事業・自主事業あわせて「地域交流の場づくり」「かりばプラザの元気アップ」「高齢者などの生活サポート・居場所づくり」などを進めており、「歳をとっても安心して住み続けられる地域づくり」にこれからも貢献していきます。



### 2020年度 NPO法人 コミュニティかりば 事業経過（参考資料 1）

事業	4月	5月	6月	7月	8月
集会所	3/3~5/21 閉館 4/16~5/6 受付停止	5/7~5/31 午前のみ受付 5/21~6/15 会議のみ利用 (6/1~ 夜間閉鎖)			
コミュニティかりば	4/16~5/6 休業閉鎖	5/7~5/31 午前のみ開業	○ 6/1 ~ 全日開業		
休憩所・喫茶		4/11~7/9 休止		○ 7/10 ~ 全日・全事業開始	
フリマボックス	4/14~5/31 休止				
健康ひろば	4/14~5/31 休止				(真夏8月は 休止!)
移動型自転車修理店	〈年間通じて通常営業〉				
お困りごとサポート	〈年間通じて通常営業〉				
緊急事態宣言	4/7~5/21				

# お知らせです！

「コミュニティかりば」では、この場所を、みなさまが安心してお使いいただくため、以下の「新方式」で運営いたします。ご協力をお願いします。

## 基本原則

- ① 熱のある方、体調のすぐれない方の入室はご遠慮いただきます。
- ② お客様のご利用は、30分を目途とさせていただきます。
- ③ 思いやり間隔（ソーシャル・ディスタンス）2m（最低1m）を確保する。

## 飛沫感染対策

- ① 入場する際には必ずマスク着用をお願いします。（喫茶の際は外す）
- ② 喫茶のため、卓上に「飛沫保護アクリル板」を設置しています。
- ③ 思いやり間隔（ソーシャル・ディスタンス）2m（最低1m）を確保して下さい。

## 空気感染対策

- ① 入場人数を制限させていただきます。
  - ・フリマお客様 2人
  - ・休憩,セルフ喫茶利用の方 4人
  - ・集会所手続きの方 2人
  - ・地域交流スペース利用の方 4人
- ② 換気を十分にします。
  - ・通常はドアを開け放つ（風が通り抜けるよう裏のドアも開ける）
  - ・夏冬のエアコン利用の際、1時間ごとに5分間ドアを開け放つ  
（扇風機,エアコン,空気清浄機,加湿器を有効に利用）

## 接触感染対策

- ① 入室する際、手指のアルコール消毒をお願いします。
- ② お客様が触れるものは、毎日朝と昼、アルコールティッシュで除菌します。  
※「健康ひろば」の出欠は、接触感染対策のため係員が記入します。

2020年 7月10日  
NPO法人 コミュニティかりば

参考資料：①居場所再開のための「with コロナ時代における感染症勉強会」

②「通いの場を開催するための留意点」（厚生労働省）

③「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」（東京都健康長寿医療センター）

④「外食業の事業継続のためのガイドライン（一社 日本フードサービス協会）」

## NPO 法人コミュニティかりば 「経営改革」ステップ計画

NPO 法人 コミュニティかりば  
2021年 4月 4日  
理事会

### □計画策定の背景

- ・事業開始から7年が経過し、経営はひとまず安定している状況にある。
- ・新たな事業の要請があり、これまでの体制では運営しにくい状況が出てきている。
- ・「このNPOはこの街にとって必要不可欠なもの」と思っているが、その確証が欲しい。
- ・この街が続く限り事業が継続し、その時代に応じて発展できるような基礎を作る必要がある。

### □計画の目標

- ・この街が続く限りこのNPOが存続し、その時代に応じて発展できる基礎を作る。

### □計画の内容

1. 「‘NPOコミュニティかりば’への期待」について調査する。  
「‘NPOコミュニティかりば’への期待」について、地域住民及び関係有識者へのヒアリング・アンケートなどにより調査し、それにより「このNPOがこの街にとって必要不可欠なもの」について確認し、今後の発展方向を検討する。
2. 「理事会」「事務局」の役割を分担し、様々な課題に対応し事業経営できる体制を作る。
  - ◇「理事会」…外部有識者理事を迎え、地域及び専門分野の情報や知見を活かし、NPO事業経営方針をしっかりと検討し方向付けする役割を持つ。(年3回程度開催)
  - ◇「事務局」…事業内容に合わせてスタッフを充実しそれぞれの事業部を構成し、日常的な実務を担う「事務局会議」を組織する。(毎月開催)
3. ‘比較的若い’新たな人材を発掘し呼び込み、継続的な発展の土台を作る。

### □計画のステップ構成

- ・当計画は、その難易度から理事の選任時期を考慮し、2年間で段階的な改革を進める「ステップ(段階)計画」とする。

#### 【第1段階】 2021年5月総会

- ・「事務局」体制を確立し、「理事会」の役割を見直す。
- ・「理事会」見直しに対応した新理事2名をお迎えする。
- ・「経営改革」に対応し第1段階の定款の変更をする。

#### 【第2段階】 2023年5月総会

- ・「理事会」「事務局」など刷新した体制で10年目を迎え、新たな課題に取り組む。

以上